

地域連携協働NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

Ⅰ 昔語りを聞く会 伊南小学校

9月27日(月)伊南小学校の「昔語りを聞く会」を訪問し、「伊南川昔語りの会」の“たかこばあ”と“のりばあ”の昔話を1年生と一緒に聞いてきました。久々の昔語りでお二人はとても緊張したそうです。



“のりばあ”
平野登子さん

“たかこばあ”
平野高子さん

《本日のメニュー》

たかこばあの『かにの恩返し』

若い男に化けた大蛇が村人を呑み込んでしまいそうになった時、以前助けてあげたカニたちが大蛇から村人を救うお話。「寄ってってけやれ」「しなだ どっから来たんだ？」など、南会津のお国ことばが続出します。1年生はこのことば聞いたことがあるかな？

のりばあの『だんご昔』

物覚えのよくない子が、お使いの帰り道にごちそうになっただんごを忘れないように「だんご、だんご、だんご…」と必死に唱えます。しかし小川を飛び越える時につい「どっこいしょ！」せっかく唱えていた「だんご」は「どっこいしょ」に変わってしまいました。「どっこいしょ、どっこいしょ…」果たして「だんご」は思い出せるのでしょうか。



【おか～しむか～しある所に…】

『伊南川昔語りの会』平成20年4月発足
会員 現在6名(語り部さん募集中です)

久しぶりの昔語りで緊張しました。学年に合うお話を選ぶのと時間の調整など考えながらやっています。また、毎年行事なので、去年と同じというわけにもいきませんので意外と大変です。現代の家庭ではほとんど方言は使われなくなり、児童がどこまで分かるのかも不安です。

それでも子供たちが真剣に聞いてくれたり、時々ニコッとしてくれると、とてもうれしいです。



【感謝の気持ちを込めて校長室までエスコート】

これらの南会津地方に伝わるお話は、かつてテレビなどが無い時代に、冬のいろり端でおばあさんが語ってくれたものが代々受け継がれてきたものです。同じお話でも地区によってことば(方言)や表現が異なり、それぞれの“味”があるそうです。小学校やイベント、観光客向けに語られ、盛んな時期もありましたが、語り部さんが少なくなっているのが悩みだそうです。子供たちが夢中になって聞き入る、あったかい語りをこれからも残していきたいものですね。